

令和五年度

こども未来会議室

報告書

今、この場所で、
私たちの未来を変える。



もくじ

はじめに P. 1

こども未来会議室の概要 P. 2

市民団体の紹介 P. 4

みなさんからの提案と市の回答 P. 6

1. 学校（学習）の改善 P. 6

2. 道路や交通安全の充実 P. 8

3. 災害に強いまちに P. 13

4. もっと環境によいまちに P. 17

5. 船橋をもっと盛り上げよう P. 25

6. 船橋をもっと住みやすいまちに P. 32

実現した主な提案 P. 41

本番の様子 P. 45

はじめに



中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

平成26年度に始まった「こども未来会議室」は、今回で9回目を迎えました。「こども未来会議室」の事前学習で素晴らしい提案を考えてくれたみなさん、また、夏休みの貴重な時間に各校の代表として「こども未来会議室」に参加してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

今回の提案は、地域を活性化させる提案や、美化活動に関する提案が多くあり、これからの時代を担うみなさんから、船橋の未来を真剣に思う提案がされたことを嬉しく、また、頼もしく感じています。今回の提案も、どれも新鮮で素晴らしいものばかりでした。

本事業にご理解、ご協力をいただいた各校の先生方、保護者の皆様、そして、1回目から企画と運営に携わっていただいている市民団体の皆様にも、心からお礼を申し上げます。

みなさんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことができるのか、市役所の部署のみではなく、関係する様々な団体の方とも真剣に協議を重ねて、この報告書を作成しました。

実現できるかどうか話し合いを続けていく提案や、実現に長い時間がかかる提案もありますが、みなさんの熱い思いはしっかり届いています。若いみなさんがこれからも社会の主人公として、頑張ってくれることを心から期待しています。

こども未来会議室の概要

1. 事業名称

こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～

2. 目的

こどもたちと市長が船橋の将来を語り合う場を設け、船橋市の現状をこどもたちに伝え、まちづくりを意識してもらいながら、将来を見据えた意見交換をすることで、こどもたちの視点を活かした市政運営につなげる。

3. 企画・運営

「こども未来会議室プロジェクト」は、4つの市民団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）と市役所の若手職員で立ち上げたプロジェクトチームです。

4. 対象学校・対象学年・参加人数

対象学校：市内28中学校（公立26校、私立1校、
県立船橋夏見特別支援学校）

対象学年：2年生

参加人数：各校2名



三山中の事前学習



旭中の事前学習

5. 事前学習

「こども未来会議室」の開催前に市立中学校全26校で実施した事前学習は、2年生全員が参加し、船橋市の良いところや問題点などについて話し合いが行われました。この事前学習では、一人ひとりが船橋の将来についてしっかりと考え、船橋市民であることを自覚し、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。



御滝中の事前学習

6. 実施内容

第1部 テーマに沿った意見発表

「こども未来会議室」のテーマ【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について、各校の代表となった2名の生徒が事前学習でまとめた意見を市長に向けて発表しました。

学校ごとに工夫を凝らし、「制服制度のあり方を改善します！」「グローバル人材の育成を図ります！」といった学校生活に関する提案のほか、「美化活動を推進し快適な駅づくりを目指します！」「詐欺被害防止に取り組めます！」といった日常生活に関する提案、「特産品をもっと有名にします！」「地域活性化イベントをします！」といった地元愛にあふれた提案など、様々な提案が市長に伝えられました。

発表後は各校で意見交換を行い、市長から、提案一つひとつに対して市の現状や今後の取り組みなどについて丁寧に説明がありました。

第2部 市長室見学ツアー

市長室では、市長から、市長室全体の案内や仕事内容、市の様々なことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。その後、市長の椅子に座り、市長、船えもん、ばか面おどりの踊り手と一緒に記念撮影をしました。

代表生徒のみなさんは、市長の説明に熱心に耳を傾けており、市職員でもなかなか入ることのない市長室に興味津々の様子でした。



第1回



第2回



第3回



第4回

7. 開催日時

様々な地域の生徒と意見交換ができるよう地域を混合し、4回に分けて開催しました。

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	7月31日（月）	8月1日（火）	8月2日（水）	8月3日（木）
参加校	宮本中	船橋中	湊中	海神中
	旭中	若松中	葛飾中	行田中
	高根中	二宮中	法田中	飯山満中
	八木が谷中	七林中	御滝中	三田中
	前原中	三山中	芝山中	古和釜中
	(私)千葉日本大学第一中	高根台中	習志野台中	大穴中
	(県)船橋夏見特別支援学校	坪井中	豊富中	小室中
学校数：計28校	7校	7校	7校	7校
生徒数：計56名	14名	14名	14名	14名

■開催時間 13:00～16:30

■開催場所：船橋市職員研修所及び市役所本庁舎9階市長室



8. 市民団体の紹介

「こども未来会議室」の開催にあたり、企画から運営まで携わっていただいた4つの市民団体を紹介します！

さざんか募金運動推進協議会

JR・東武アーバンパークライン船橋駅コンコースにシンボル像「さっちゃん像」があり、みなさんの待ち合わせスポットとして活用されていて、実は募金箱になっています。募金は主に、青少年健全育成のための事業などへの資金援助や、母子・父子家庭の高校生・障害児のための奨学金の給付などに使われています。



船橋商工会議所青年部

船橋商工会議所青年部（船橋YEG）は、次代の地域経済を担う後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質向上と日本全国の商工会議所との交流や国際研修事業などを通じ、己の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としており、各委員会にて様々な事業を展開しています。

私たちは、船橋が本当に好きで、明るい豊かなまちにしたいと考える団体です。

※YEG（若き起業家集団）とは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったもので、商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者＝Youth, Energy, Generalist を表しています。



船橋法人会青年部会

会社を経営するために、切っても切り離せないのが納税です。法人会は、全国に約100万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも青年部会は、50歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に、更なるステップアップや、仲間を増やし友情を育むことを目的に掲げて、地域の発展と企業の繁栄を目指し活動している団体です。



船橋青年会議所

船橋青年会議所は、20歳から40歳までの青年が明るい豊かな社会の実現を理想とし、「修練」「奉仕」「友情」の3つの信条のもと、よりよい社会づくりを目指し、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいる団体です。

また、国際的な組織でもあり、世界125か国に17万人を超える会員がおり、日本では全国47都道府県698の地域に約3万6千人の会員がいます。40歳で卒業となりますが、卒業されたOBは世界で250万人以上おり、元米国大統領のビル・クリントンさんやマイクロソフト創業者のビル・ゲイツさんなども所属していました。日本では、元内閣総理大臣の小泉純一郎さん、その息子である小泉進次郎さんなども活動していました。

船橋青年会議所では、次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



みなさんからの提案と市の回答

1.学校（学習）の改善

グローバル人材の育成を図ります！

【若松中】

昨今の世界全体のグローバル化に対して、語学力を養う機会が少ないため、姉妹・友好都市との交換留学や、オンラインでの交流、相手国の言語を用いた絵本を作成し交換することで、実践的な外国語の習得や、異文化理解を深める提案でした。



※各提案に対して、SDGsの目標に関連するものを表示しています。

〈市の回答〉

具体的な提案をしていただき、ありがとうございます。市には、ヘイワード市と、デンマーク・オーデンセ市、中国・西安市と3つの都市との間で、姉妹・友好都市提携をしています。

その中で、現在、市は市立船橋高校がヘイワード市のモロー高校と交換留学を行っています。

次に、中学校での交換留学ですが、実際に行き来することは経済的な面や詳細な打ち合わせの必要性を考えると、すぐに実現することは難しいですが、オンラインでの交流は葛飾中学校とクロスポイント中学校（米国・カリフォルニア州）が令和4年度から実施しており、令和5年度は峰台小学校の英語クラブも参加予定となっています。今後については希望する学校を募ることを視野に入れ、まずはオンラインでの交流を充実させていきたいと思います。また、船橋市国際交流協会では、市内在住の高校生のカリフォルニア州立イーストベイ校附属英語学校へ研修派遣や、市内在住の大学生のカリフォルニア州立イーストベイ校への留学生派遣を行っています。

絵本を通じた交流は、相手の国の文化等を身近に感じることができる提案だと感じました。各姉妹・友好都市の学校をつないでいるコーディネーターと相談しながら、どのような形で実現できるか検討していきます。

制服を改善します！



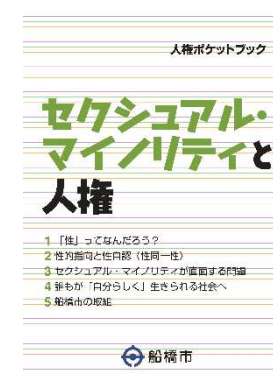
【法田中】

現在の学校の制服は、経済的負担も大きく、使用機会も学校生活に限られるので、既製品を制服として活用し、選択肢を増やすことで、制服のジェンダーレス化や経済的負担の軽減を目指す提案でした。

〈市の回答〉

現在、ジェンダーレス制服については、市内の11校の中学校で導入しており、その他の学校でも導入を予定しています。制服の取扱いには各校における制服の意義やできるまでの経緯などを踏まえて、学校ごとに決めています。既製品を制服として導入することなど、今後、制服の選定や見直しを行う場合は、生徒や保護者の意見を聞くことが大切であるため、経済的負担の軽減や、制服のジェンダーレス化も含め、様々な人たちから広く意見を聞くように働きかけていきますので、みなさんも、学校の先生にぜひ相談してください。

LGBTに関する市の取り組みの一例として、性的少数者交流会「マープルアーチ」を開催しているほか、中学1年生のみなさんに人権ポケットブック「セクシュアル・マイノリティと人権」を配布しています。



左図：導入されたジェンダーレス制服（一例）

中図：「マープルアーチ」のチラシ

右図：「セクシュアル・マイノリティと人権」のハンドブックの表紙

2.道路や交通安全の充実

道路を安心して利用できるよう交通ルールを遵守します！



【古和釜中】

通学時や日常生活の中で、道路を通る際に危険を感じることがあるので、市民一人ひとりが交通ルールを遵守するよう周知していくという提案でした。

〈市の回答〉

市では、四季ごとの交通安全運動を中心に、警察をはじめとする関係機関と連携した街頭キャンペーンのほか、広報ふなばし、SNS、デジタルサイネージ、リーフレット等を用いた広報など、交通安全啓発活動を行ったり、交通ルールやマナーを身につけるための各種交通安全教室を市内の保育園や小・中学校で実施しています。

また、「交通事故のない、安全で安心して暮らせる船橋市」を目指した「第11次船橋市交通安全計画」を令和3年9月に策定し、目標の達成に向けて、交通安全に関する様々な取り組みを推進しています。交通事故を防止していくためには、市民一人ひとりが日頃から交通安全を意識し、行動していくことが大切となりますので、みなさんも引き続き交通安全にご協力をお願いします。

〔自転車マナーアップ隊〕

交通安全意識の向上を図るとともに、自転車事故防止を促進することを目的として、毎月15日の「自転車安全の日」を中心に船橋警察署・船橋法典高校と合同で、朝の通勤・通学時間に合わせて、ガラスポ付近での交通指導及び啓発物の配布を行っています。



図：「自転車マナーアップ隊」の啓発活動

道路を補修したり安全施設を設置して、道路をもっと安全にします！



【御滝中・古和釜中】

通学時や日常生活の中で、道路を通る際に感じた危険箇所（道路の凹凸や街灯・ガードレールのない道など事故の危険性の高い道）を安全にするために、道路の修繕、歩道の整備、街灯の設置及びカーブミラーやガードレールの増設をするという提案でした。

〈市の回答〉

〔道路の段差・凹凸の解消〕

舗装が劣化した箇所や街路樹の根による影響で段差ができている箇所などについて順次修繕を行っています。市でもパトロールしていますが、みなさんが利用している中で気が付いた箇所がありましたら教えてください。

【道路維持課 維持第一・第二係 連絡先 047-436-2618】

市では「船橋市道路損傷通報システム」(※1)を運用しており、LINEで道路の不具合を通報できます。早期発見が事故や怪我を未然に防ぐことにつながりますので、ぜひ友だち追加をして利用してみてください。みなさんのお友達にもお知らせください。



※1

このコードを読み取り、友だち追加することで、利用できます。

〔歩道の整備〕

市道の歩道整備については、都市計画道路の整備や道路を拡幅するときなどに行っていますが、歩道を整備するには、歩道となる用地を確保することが必要になるため、土地所有者に協力していただく必要があります。整備には多くの費用と長い期間がかかります。

また、道幅の狭い道路の安全対策として、車がスピードを落として走行するよう、路面が凸状に見えるイメージハンプや道路上にゴム製のポールを設置し車道の幅を部分的に狭くしたり、道路脇の部分を緑色に塗り、歩行空間を示すなどの対策も行っています。

今後も歩行者の安全を確保するための整備を進めていきます。

右図：左から凸状に見えるイメージハンプ、
ゴム製のポールによって車道が狭い状態、
緑色に塗り歩行空間を明示



〔照明施設〕

まちを明るく照らしている照明施設は、「道路照明灯、商店街街路灯、防犯灯」の3種類あり、用途によって設置者が異なります。

① 道路の安全のための「道路照明灯」

夜間の道路交通の安全を図ることを目的とした道路照明灯は、市内の主要な道路や公共施設に面した道路などに約2,600基あり、市が設置しています。過去の「こども未来会議室」で“船橋のまちを明るくしてほしい”との提案を受け設立した「道路照明灯設置に関するプロジェクトチーム」にて、「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定し、道路照明灯・道路街路灯の設置に関するルール作りを行い、夜間交通の安全性向上を図っています。普段生活している中で、危険や不安と感じる箇所がありましたら、電話で相談してください。現地調査を行い、設置について検討していきます。

【道路維持課 維持第一・第二係 連絡先 047-436-2618】

② 商店街を明るく照らす「商店街街路灯」

明るい魅力ある商店街環境を作り、商店街の販売促進と消費者の利便を図るため、商店会が設置しています。市では、商店街街路灯の電球交換や整備を行う際に補助金制度を設けてその活動を支援しています。なお、街路灯がLED化されていない商店街に対しては、令和4年度に限り補助額を増額することで、早期のLED化を積極的に促しました。これにより、令和5年度中には、すべての商店街街路灯がLED化される予定です。

③ まちの防犯のための「防犯灯」

市内には約42,000灯の防犯灯（街灯）が設置されていますが、その設置や維持管理は、地域の状況をよく知っている町会・自治会に行っていたが、市では補助金制度を設けてその活動を支援しています。

平成26年度から防犯灯のLED化が進み、地域の方から、以前よりも明るくなったとの声も寄せられています。

今後も防犯灯のLED化による灯具の交換を促進するよう働きかけるとともに、市民の皆様から暗い場所の指摘があった際には、町会・自治会に相談し、適切な設置をお願いしていきます。

〔カーブミラー〕

カーブミラーについては、設置を要望する場所がありましたら、市に電話で相談してください。現地調査を行い、設置する際の条件に合った場所には、カーブミラーを設置します。設置できない場合には、交差点に色をつけるなどの路面標示の設置や注意喚起看板の設置等、別の安全対策を検討します。

【道路維持課 保全係 連絡先 047-436-3222】

〔ガードレール〕

ガードレールの設置については、普段生活している中で、危険や不安と感じる箇所がありましたら、市に電話で相談してください。現地調査を行い、設置について検討していきます。道路にガードレールを設置するには、歩行者スペースを含め一定以上の道路の幅が必要となり、道路を広げるためには、道路沿いの住民の方に用地を提供していただくための協力を求めなければならず、すぐには対応が難しい場合があります。そのため、毎年 10 校ずつ順番に、小学校、地域の方、市と共同で通学路の安全点検を実施しており、道路を広げることができない場合でも、歩行空間を明らかにするため、道路に赤いゴム製のポールを立てたり、緑色の帯状のカラー舗装をするなどの安全対策を行っています。

【道路維持課 保全係 連絡先 047-436-3222】

アンデルセン公園へのアクセスをスムーズにします！



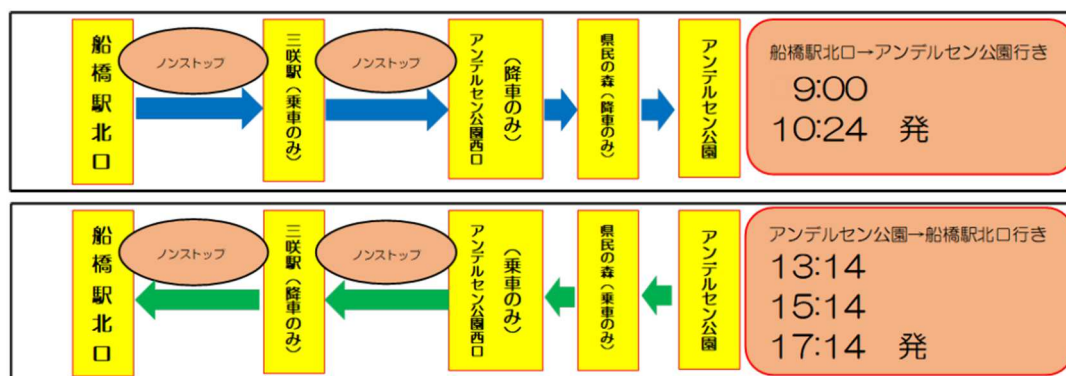
【豊富中】

アンデルセン公園の入り口付近のバス停をバスベイにすることで、バスが停車した際の一般車両の通行を妨げずに混雑の緩和を行い、バスの本数を増やすことで、アンデルセン公園へのアクセスをスムーズにし観光客を増やすこと、また豊富地区の方々の交通手段の改善を目指す提案でした。

〈市の回答〉

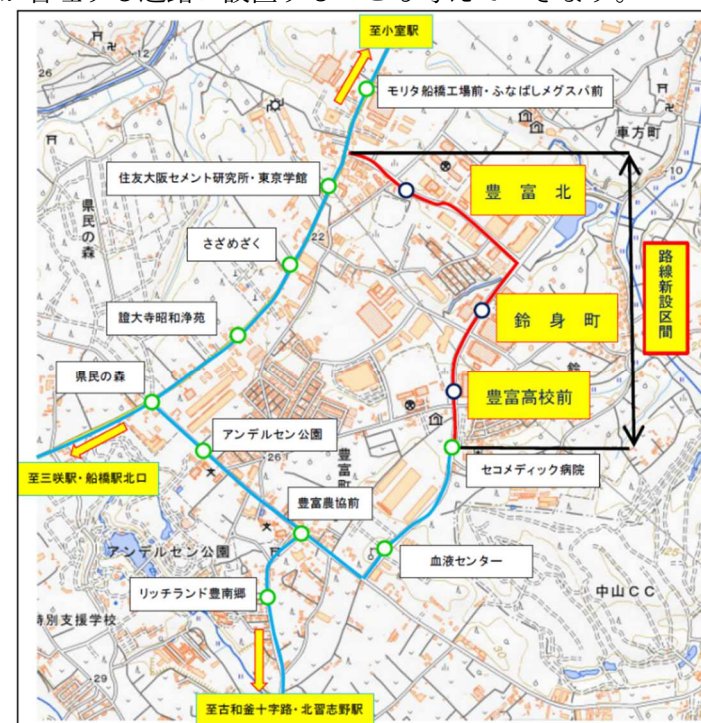
アンデルセン公園の周辺でバスが転回したり、待機したりするバスロータリーについては、アンデルセン公園を管理している船橋市公園協会やバス会社に提案し、話し合いを進めています。また、バスが寄り付けるバスベイを市や県が管理する道路に設置することも考えていきます。

バスの本数を増やすことは運転手不足などから難しいですが、バス会社ではアンデルセン公園へのアクセス向上のため、船橋駅北口からアンデルセン公園に直行するアンデルセンライナーや、土休日において北習志野駅からアンデルセン公園へ行くバスを新設しました。また、豊富地区へのアクセス向上のためにバス路線を新設しました。



上図：アンデルセンライナーの経路および時刻表（3/16～11/30の土休日のみ運行）

右図：豊富地区における新規バス路線図



3.災害に強いまちに

災害に備えた設備を導入します！



【古和釜中】

大きな災害が頻繁に起きていたり、真夏日や猛暑日の日数が近年増えていたりすることから、各学校の屋上にソーラーパネルを設置し蓄電することで非常時に備えるとともに、避難所として使う体育館を快適に使える施設にするため、快適な温度を保てるようにエアコンを設置するという提案でした。

〈市の回答〉

〔ソーラーパネルの設置について〕

市では、令和4年度から市内の小・中学校や公民館など、避難所等に指定している施設の中から、屋上に十分なスペースがある106施設（小学校54・中学校26・高校1・特別支援学校2・公民館18・老人福祉センターなど4・市役所本庁舎）に、市と協定を締結した事業者が、太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めています。古和釜中学校は、令和5年10月から工事を開始し、令和6年4月以降から太陽光発電が開始されます。

〔避難所について〕

市では避難所において避難者が安全に良好な避難所生活を送れるように、居住場所の確保や、食料、毛布、その他の生活関連物資の整備等を行っています。また、感染症に対応した避難所にするため、紙管パーテーションやマスク等を配備したほか、被災者の生活環境の整備に必要な措置を講ずるべく、災害情報の入手や安否確認などがしやすくなるように、市内の小・中学校など宿泊可能避難所の一部にWi-Fiクラウドルーターを配備しました。

〔エアコンの設置について〕

体育館へのエアコン設置は、熱中症対策として早急な対応が必要と考えており、市は令和6年の8月までに、全26市立中学校と市立船橋高校1校にエアコンの設置を決定しました。市内の小学校55校と特別支援学校2校についても、令和7年度中の設置を予定しています。これにより、普段利用されている小・中学生のみならず、緊急時に避難所として使われる際にも、避難者の方々が快適に生活できるようになります。

海老川水門を改善します！



【湊中】

湊町や、浜町と大型商業施設を結ぶ、多くの歩行者が利用している海老川水門があります。現在通行するにあたって危険箇所がある等、整備が不十分な状態であるため、歩行者が安心して通行できるように安全化を図るという提案でした。

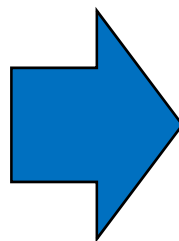
〈市の回答〉

みなさんが通行している水門の改善という身近な提案ありがとうございます。海老川水門等は、高潮や津波による浸水を防ぐための海岸保全施設で千葉県が管理を行っています。みなさんが通行している通路は、水門を維持管理するための施設で、一般の人が通行することを想定して整備されたものではありません。しかし、周辺にお住まいの方の暮らしに必要な通路として、歩行者が通行できるように市から県へお願いをし、通れるようになっている経緯があります。

今回、歩行者が安心して通行できるように安全化を図るという提案については、令和6年の1月に地面が整備されていない箇所へのアスファルト舗装を実施しました。その他の箇所については、今後、国土交通省によって海老川水門等を耐震化するための工事が予定されていることから、歩行者が安心して通行できるよう国や県と話し合っていきます。



施工前



施工後

図：海老川水門のアスファルト整備状況

海岸保全施設は、高潮や津波による自然災害からみなさんの生命や財産を守る役割を担っています。しかし、その多くの施設は昭和 40 年に建設され既に 50 年以上経過しています。そのため老朽化が進行し大規模地震に対する耐震性が不足している状況です。ひとたび高潮や津波が発生し、海岸保全施設が機能しなかった場合、市役所・消防署・東京電力・NTT などのライフラインを支える施設に被害が及ぶことが想定され、市全体の災害復旧活動に大きな支障をきたします。さらに周辺市を結ぶ緊急輸送道路（国道 14 号線）にも被害が及び、市だけでなく広い地域への影響が懸念されています。

[illegible]

15

船橋の規格外の野菜で災害用の防災食を作ります！



【海神中】

規格外や病気による野菜の廃棄率は、約2割を占めており、食べられるがサイズが合わずに廃棄される野菜を防災食に取り入れることで、フードロスを減らすとともに、導入された様々な防災食に合った船えもんをパッケージ等に印刷することで、商品を手に取りやすくしつつ、船えもんの広報をするという提案でした。

〈市の回答〉

市では、災害時等の不測の事態に備えて、非常用物資を備蓄しています。令和4年度に船橋産のお米を使ったリゾットを石井食品(株)とJA いちかわと連携して開発し、非常用物資として備蓄しました。今後、規格外の野菜を使って災害用の防災食を作ることは、フードロスの削減につながりますし、地産地消も推進できます。SDGsの観点から、とても良いアイデアだと思います。一方、防災食は通常の食品と比べて長い賞味期限（5年以上）が必要になりますので、そのための技術を持っている会社でしか製造することができません。あわせて、防災食とするにはカロリーなど条件があるため難しいかもしれませんが、防災食に限らず規格外の野菜を使ってフードロスを少なくする取り組みについて、JAなど関係機関と相談していきます。

現状では、防災食として、クラッカーやアルファ化米を備蓄していますが、今後、規格外の野菜を使ったそのような防災食が販売された場合は、購入を検討していきます。

船えもん自身の認知度を上げる方法として、広報したい物に合わせて変身するというアイデアありがとうございます。船えもんは、船橋の「ええもん（＝ふなばしセレクション認証品）」を探し出し、広報するという船橋の「ええもん」を探すキャラクターで、認証品の広報をしています。ご提案のように柔軟な発想をもって広報活動することは、市と船えもんの認知度向上に繋がると思いますので、広報活動など工夫します。



図：市で備蓄している防災食の一例（リゾット）

4.もっと環境によいまちに

環境に優しい屋内型テーマパークや公園をつくり充実させます！

【千葉日本大学第一中・高根中・七林中】

自然豊かな環境に優しい市を目指すために、綱引き大会、音楽フェスティバルといった文化やスポーツイベントの開催、幅広い年齢層に向けた公園の整備、無料で体験できる体験工房や知育教育が取り入れられた玩具のある室内施設の整備及び設置、小動物の観察エリアを導入し、南部地域をはじめとした市の活性化を行うという提案や、資源ごみを活用した屋内型テーマパークを導入し、テーマパークの利益から市内の太陽光発電の促進と地域の緑化を推進、ごみ拾いで集まったものから作品づくりを通したクリーン活動の実施を行うという提案、こどもたちが自由に遊べる屋内型公園を導入するという提案でした。



〈市の回答〉

潮見町にある屋内施設「ふなばし三番瀬環境学習館」では、三番瀬の魅力を体感しながら、三番瀬や環境について家族や友人と楽しく学べる施設となっています。生き物の恵み豊かな三番瀬では、アサリだけでなく、小魚やカニなど、多くの生物を観察することもできます。

施設では、常設展示に加え、春休みや夏休みに特別展を開催しており、週末には三番瀬干潟を利用したワークショップ等を実施しています。特別展においては、ご提案のありました段ボールを使った企画を実施していますが、より耐久性があり、リユースに適している材料を使用した展示も実施しており、環境に配慮した展示について試行錯誤をしているところです。なお、ワークショップでは、海岸の漂着物を収集・観察するビーチコーミングや海岸の貝がら等を使ったアクセサリ製作を実施しています。

また、この施設では太陽光発電設備や小型風力発電設備を設置し、発電された電力を施設で活用しており、環境に配慮した施設でもあります。その他、小・中学校などでは、太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めています。このような取り組みにより目標である「2050年ゼロカーボン」に向けた公共施設の整備を進めています。



図：段ボール（左図）やリユースに適した材料（右図）を使った特別展

ふなばし三番瀬海浜公園の先に広がる浜辺の活用については、浜辺は 24 時間誰でも利用できる施設であることや豊かな自然環境を保持するために、大きな音が出るコンサートや火器の使用など一定の利用制限を設けています。また、用地取得や整備など、多くの費用と長い時間がかかるため、ご提案いただいた新たな屋内型テーマパークや、屋内型公園をすぐに建てることは難しいと考えます。ふなばし三番瀬環境学習館は、平成 29 年度に開館した新しい施設ですので、今後も誰もがより楽しめる施設を目指し、企画等を充実しながら、多くの方に知ってもらえるように広報活動など工夫します。市内在住・在学の小・中学生や未就学児は、無料で常設展示を利用できますので、ぜひ一度お越しください。お待ちしております。

また、市内の公園に資源ごみや段ボールを活用した遊具を設置するという提案については、環境面と安全面に配慮した遊具等の選定を引き続き、実施していきます。「親子でできる段ボール遊具講座」の提案については、ふなばしアンデルセン公園子ども美術館など既存の施設を利用した実施を検討していきます。

ボール遊びをはじめとした、遊びやすい公園をつくります！



【七林中・三山中・古和釜中】

年齢層に合わせて区域が分けられた遊びやすい公園の提案や、ボール遊びをはじめとした、遊ぶ目的に合わせてネットで区切られた公園の提案、また、小さい子どもや大きな子どもまで、活発に遊んでも近隣住民に迷惑にならない大きな公園を導入するという提案でした。

〈市の回答〉

都市公園は、良好な都市景観の形成やレクリエーション、コミュニティの場としてお子様から高齢者まで、様々な方が自由に利用することができる憩いの場となるよう整備を進めているところです。今後も地域の皆様のご意見を伺いながら、良好な都市空間の形成に努めていきます。

そのような中、この「こども未来会議室」でいただいた、みなさまの先輩方からのご提案により、平成 27 年度から「ボール遊びのできる公園」の整備の取り組みを進め、近隣にお住まいの方の理解を得ながら、これまで、公園 17 箇所、まちかどスポーツ広場等で 16 箇所、計 33 箇所を整備してまいりました。今後も、年齢を問わず、ボール遊びを含めた多様な遊び方に対応可能な施設整備の可能性について調査・研究していきます。

また、「ボール遊びのできる公園」には、ネットなどで区切るということの有効性もあるとは考えますが、音の問題や安全性など、利用する人と近隣にお住まいの方の相互理解が必要不可欠です。みなさまがボール遊びをする際には、ホームページで公表しているパンフレット「ふなばしボール遊びができる施設」の基本ルールを守って楽しく遊んでいただきたいと思います。

船橋駅周辺をよりきれいで安全なまちにします！



【船橋中】

船橋駅周辺の路上喫煙対策、客引き防止対策を強化するとともに、美化活動を推進することで駅周辺の治安を守り、美化を目指す提案でした。

〈市の回答〉

路上喫煙対策として、市では「船橋市路上喫煙及びポイ捨て防止条例」に基づき、重点区域内（ＪＲ船橋駅・西船橋駅・津田沼駅北口周辺地区）で違反行為（公共の場所での路上喫煙やポイ捨て）を行った者に対して直ちに過料（2,000 円）を科しています。そして、市内全域において違反行為を警告する路面シートの貼付、平日の朝夕の時間帯及び土曜日・日曜日も含めたパトロールを実施しています。

路上喫煙やたばこのポイ捨てを防止する目的で、船橋駅北口に指定喫煙所を設置しています。今後もこのような対策を継続し、違反行為をしない意識を浸透させたいと考えています。

また、「路上喫煙禁止区域での喫煙をしていたら、その場で注意を行う。パトロール中に、喫煙についてアナウンスを行う。」との提案がありましたが、他市で路上喫煙者を注意した人が暴力行為を受けたという事件がありました。危険ですので、その場で注意はせず、市に電話で情報提供してください。そのような方への対応は市が行います。

【クリーン推進課 連絡先 047-436-2434】

次に、客引き防止対策としては、市では客引き規制区域に警察 OB や業務委託による警備員を客引き指導員として配置し、客引き行為者に指導を実施しています。悪質な客引き行為者に対しては、市条例に基づき段階的な指導により、書面指導、勧告、公表・過料処分を実施しているほか、警察と連携し、風営適正化法や迷惑防止条例を適用した客引き行為者の摘発も行っています。客引き行為者の摘発を行った際は、ふなばし情報メールを配信し、客引き行為に対する啓発及び防犯意識の向上を図っています。客引き行為者による、たばこの吸い殻やごみのポイ捨てに対する市民からの意見も散見されるため、今後も関係各課で情報共有を図りながら、連携した活動を推進します。

最後に、駅周辺の美化活動としては、船橋駅を含め、市内全域の環境美化を図ることはとても大切であるため、市では駅周辺等の清掃活動を、場所にもよりますが、多いところで毎日、少ないところでも隔週 1 回（土日等祝日を除く）実施しています。



図：路上喫煙やポイ捨てを防止する路面シート

船橋 85（エコ）の日導入と、ボランティア活動推進で船橋をきれいにします！



【宮本中・八木が谷中・七林中・古和釜中】

リボーン船橋 85（エコ）の日を導入し、船橋ごみ拾いまつりを開催することで、530（ゴミゼロ）の日を盛り上げ、回収したごみの量に応じて、市の特産品などと交換できるようにするという提案、ボランティア活動を推進することで地域を活性化しながら、まちの美化を促進し、ごみを捨てにくくする環境づくりをするという提案でした。

〈市の回答〉

まちの環境美化について、様々なアイデアを出していただき、ありがとうございます。どれも斬新で、とても面白い企画だと感じました。

クリーン船橋 530 の日の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって減少傾向にあります。そのような中で多くの人たちに関心をもってもらうことはとても大切です。回収の成果によって、市の特産物などをプレゼントすることで活性化につながる可能性は高いと考えますが、この事業は市全体を対象としており、地域によって散乱ごみの多い少ないがあったり、大きなごみの不法投棄が多いところがあるなど、また、ごみ拾い競争に熱中してしまうことで予期せぬ事故に巻き込まれる可能性も考えると、回収の成果によってプレゼントを用意することは課題が多くあります。しかし、拾って終わりにしないで、回収の成果などを発表することは、参加意欲にもつながると考えるため、一例ですが、当日の活動の様子写真を募って、市のホームページなどで紹介するような事業を検討します。また、「リボーン船橋 85（エコ）の日」については、新たに事業として実施するのではなく、既存の「クリーン船橋 530 の日」と「船橋をきれいにする日」をより活性化できる方策を検討します。

市では、「クリーン船橋 530 の日」や「船橋をきれいにする日」といった市民の皆様が気軽に参加できる市内一斉清掃事業の実施、「環境美化モデル活動認定制度」による地域団体による清掃活動の支援など、市民の皆様と一緒にまちをきれいにする活動を行うほか、船橋駅をはじめとした、市内 10 駅で、駅周辺等の清掃活動も実施しています。このような活動を通じ、ポイ捨てすることはいけないことだという、雰囲気を作り出しポイ捨てを減らしていきたいと考えています。

今後、地域内でのボランティア活動を行う際、ぜひこの市内一斉清掃活動への参加や環境美化モデル活動認定制度の活用を検討してみてください。なお、環境美化モデル活動認定制度を活用している学校もありますので、お気軽にお問い合わせください。

【クリーン推進課 連絡先 047-436-2434】

そのほか、ボランティア活動については、中学生以上の学生を対象としたボランティア体験事業を、毎年夏休み期間を中心に開催しています。ぜひみなさんも参加してみてください。また、令和5年12月1日に開始した「船橋市市民活動ボランティアスタートアップ」では、より幅広い年代の方に年間を通じて様々なボランティア活動に参加いただくことができます。活動内容や参加方法などの詳細については、「ふなばし市民力発見サイト」をご覧ください。



図：「ふなばし市民力発見サイト」コード

〔クリーン船橋 530 の日〕

毎年5月の最終日曜日に開催しているイベントです。

市内全域の道端に散乱するごみを一掃することで、ごみのない住み良い地域「環境にやさしいまちづくり」の啓発運動としています。

令和5年度は、約5,000人の方々の参加があり、市内全域で約14.6トンのごみが集まりました。



〔船橋をきれいにする日〕

毎年11月の第3日曜日に開催しているイベントです。市内全域の道端に散乱するごみを一掃することで、船橋をきれいなまちにすると共にポイ捨て防止の啓発運動としています。

令和5年度は、約4,140人の方々の参加があり、市内全域で約14.4トンのごみが集まりました。



上図：「クリーン船橋 530 の日」の様子

下図：「船橋をきれいにする日」の様子

〔ごみ分別アプリ「さんあ〜る」〕

市では、手軽にごみの分別や収集日を確認できるスマートフォン向けのアプリ「さんあ〜る」を配信しています。このアプリは、ごみ出し日を通知したり、クイズで分別方法などについて学ぶことができるほか、英語、中国語にも対応しています。ぜひご利用ください。



図：「さんあ〜る」インストール用コード



〔ふなばし夏のボランティア体験〕

「ふなばし夏のボランティア体験」は、市内の中学生からの提案により平成 27 年度から毎年実施しています。市内在住・在学の中学生～大学生（専門学生）が主に夏休み期間中に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験を行うもので、毎年多くの生徒・学生に参加いただいています。



右図：「ふなばし夏のボランティア体験」の様子

給食残菜の有効活用を行います！



【坪井中】

坪井中学校では、一日に給食の残菜が大量にでることから、残菜の有効活用としてコンポスト化を行い、SDGsの達成を目指す提案でした。

〈市の回答〉

給食の残菜の削減方法や、利活用まで考えた提案ありがとうございます

市内の学校全体の取り組みとして、給食の残菜をコンポストで作成した肥料の活用を考えた場合、現時点で考えられる課題が3つあります。

まず、1つ目の課題は、コンポストに塩分の多い調味料や油が入入れられないことです。給食の残菜は塩分の多い調味料を含んでいるものが多数あり、塩分の多い調味料を含まない残菜だけを選ぶと、コンポストに使用できる残菜はわずかになります。

2つ目の課題は、コンポスト設置に広い場所の確保が必要であることです。坪井中のみなさんの提案でも、分解に約5か月間かかるとの話が出ていました。微生物が食べ物を分解し肥料になるまでに日数がかかるため、コンポストの数がどんどん増え、広い設置場所を確保する必要があります。

3つ目の課題は、出来上がった肥料の活用方法についてです。平成11年から18年までの間に、市内小学校3校で生ごみ処理機を用いて給食の残菜、野菜くずなどを肥料にしたことがありました。残菜から出る塩分と油の割合が少なくなるように、生ごみ処理機に塩分と油の無い野菜くずを多めに入れたところ、肥料が大量にでき、使用が追いつかず、残菜、野菜くずなどを毎日機械に入れることをやめました。また、残菜の割合が少ない肥料であるものの、塩分が多く含まれるなど、求める成分の肥料ではなかったため農家に提供することはできなかったとのこと。そのため、肥料の一部をゴミとして処分しました。コンポストは生ごみ処理機と異なりますが、同様の課題を生じる可能性があります。

コンポストは残菜の有効活用として、1つの手段ではありますが、それだけでは別の課題に直面してしまいます。市では食品ロスを減らすため、商品棚の手前から取る「てまえどり」や外食時における食べ残しを減らすこと、食料を必要としている子育て世帯などに余った食材を届けるフードバンクへの寄付などをみなさんに呼びかけています。みなさんも、食べ残しを減らすなどの身近にできる取り組みにご協力ください。

機能性のごみ箱で船橋市内のポイ捨てを無くします！



【七林中・大穴中】

公園内でも安心して利用できる蓋つきの透明なごみ箱を導入するといった提案や、海洋ごみの約7割を占めるペットボトルをごみ箱に捨てたくなる、投票式やゲーム式のごみ箱を設置することで、市内のポイ捨てを無くすという提案でした。

〈市の回答〉

きれいな公園にしたいとの、みなさんの思いが伝わる提案ありがとうございます。

今回、提案のありました投票型のごみ箱や、昨年度のこども未来会議室で提案のあった、千葉ジェッツふなばしや船えもんなど人気キャラクターをデザインしたごみ箱など、「思わず捨てたくなるごみ箱」については、様々な国や地域で設置され、実際に効果が出ている場所もあります。しかし、ごみ箱の設置は、捨てる方にとって便利になる一方で、家庭ごみや事業ごみが捨てられたり、ごみが適切に捨てられず散らかることもあり、こうした心配の無いところであれば、現在普通のごみ箱が設置されている場所に、提案のようなごみ箱を飲料メーカーと協同して、置き換えを行う実証実験等を検討します。また、蓋つきの透明なごみ箱を公園に設置することについては、現在、都市公園においては、環境面に配慮し、ごみの持ち帰りをお願いしているので、全ての公園にごみ箱を設置することは難しいです。ごみのポイ捨てを減らすため、公園内にあるごみ箱の置き換えなど、ご提案の内容を含めたごみ箱設置の実現について、検討していきます。

5.船橋をもっと盛り上げよう

特産品を使った食品で船橋をもっと有名に！

【船橋夏見特別支援学校・小室中・飯山満中・古和釜中】

市の特産品を用いて、アイス・ジュースフェスを開催したり、梨を用いた大福や、市の特産品のみを使用した船橋特産品弁当の販売、特産品を用いたレシピや特産品の広報、特産品の農業体験を行うことで、船橋の特産品を知名度アップさせる提案でした。



〈市の回答〉

市には特産物を使った様々な商品があります。提案のあったフェスは、「特産品を実際に味わっていただくこと」がポイントだと思いますので、船橋市観光協会と相談してみます。

市では、農水産祭という船橋産農産物や船橋産水産物を使った食品等を販売し広く知ってもらうイベントが毎年開催されています。

令和5年度では、船橋港親水公園において、11月に「第56回船橋市農水産祭」を開催し、野菜、ホンビノス貝、シクラメン、鶏卵等の販売や、船橋産農水産物を使用した飲食物の販売を行いました。

なお、今回は提案のあったアイスでの特産物のPRを実施するため、JAちば東葛農産物直売所「ふなっこ畑」に相談し、船橋産の農産物を使用したジェラートの販売を行いました。

他にも、東武鉄道船橋駅コンコースにおいて、6月に「地場野菜即売会」、11月に「船橋産の農産物即売会～都市農業PR～」を開催しています。また、8月に「船橋市なし味自慢コンテスト」を開催し、特別賞を受賞した梨の展示を東武百貨店船橋店で行いました。

農水産祭は市も参加する実行委員会が主催していますので、今後も農水産祭内で船橋の特産物を使ったアイスやジュースを取り扱えるよう実行委員会で検討します。

特産品を用いた商品については、フードロスの削減などを目的に「船橋のなし」を使ったジャムやドライフルーツなどの加工品が生産者や事業者によって開発・販売されています。梨大福や、船橋特産物弁当など、ご提案いただいた商品については農業協同組合などの関係機関と情報共有し、実現可能か相談します。



図：「第56回船橋市農水産祭」の様子

船橋にんじんや小松菜などの特産物のレシピは市のホームページで紹介していますので、みなさんぜひ見てください。

また、上記の農水産祭の他、船橋アリーナやZOZOマリンスタジアム、大井競馬場でのPRイベントやまちづくり出前講座の実施時などにレシピを掲載したチラシを配布しています。

市では農業や農産物の魅力を伝えるためアグリツアーを生産者団体と開催しており、農作物の収穫体験や収穫した農作物の調理を行っていますが、種まきなどの栽培管理作業を行い、収穫を行ったことはこれまでありませんので、収穫までの管理作業も含めた実施について、生産者団体と相談します。



図：「特産物のレシピ（市HP）」コード

船橋の郷土料理を有名にしたい！



【習志野台中】

船橋の郷土料理である「ふうかし」を有名にするため、潮干狩り大会を開催し、「ふうかし」を振舞う事で、船橋の特産品を有名にすることを目指す提案でした。

〈市の回答〉

郷土料理を使った提案ありがとうございます。みなさん「ふうかし」を知っていましたか。

船橋ではアサリの漁獲が全くない状態が5年程続いているため、船橋産のアサリを使用した「ふうかし」を現状では提供することが出来ません。ただ、潮干狩りの開催と合わせて「ふうかし」の紹介は可能と考えますので、今後こういった形で実施できるか、潮干狩りを主催している船橋市公園協会と相談します。

現在、船橋市漁業協同組合では資源回復のための取り組みを行っています。以前湊町小学校でも、平成27年度に三番瀬海浜公園での潮干狩りにて郷土料理の「ふうかし」を食べる機会があったそうです。今後、アサリが漁獲されるようになった場合は、船橋市漁業協同組合と実施できるか相談します。

〔船橋市のふうかし〕

肉厚のアサリをたっぷり入れ、少量の味噌で味付けした“ふうかし”は、漁師町に伝わる郷土料理として親しまれています。船橋のアサリは、身がふっくらしていて、貝殻が薄く、貝のうま味が出る天然の江戸前アサリです。定番のみそ汁はもちろん、酒蒸し、パスタ、アサリご飯……など召し上がり方は多種多様。貝そのものの風味が豊かだから、薄味でも十分おいしいです。アサリの殻には個体ごとに異なる複雑な模様がありますが、比較的、白っぽい部分や青みがかった部分が多いのが、船橋のアサリの特徴です。その美しい青色は、船橋沖に広がる干潟の名前から「三番瀬ブルー」と呼ばれることもあります。

東京湾で発生する青潮の影響で漁獲量が減少しており、今では貴重な存在となっています。





魅力的な構造物を導入し、地域の活性化を図ります！

【葛飾中・行田中】

公園に船橋ゆかりのものをを用いてデザインされた時計を設置したり、商店街に太陽光発電を用いたイルミネーション、シャッターアートや顔はめパネルを導入し、地元のシンボルとして地域を活性化させる提案でした。

〈市の回答〉

公園の時計は、現在、近隣公園等の規模が大きい公園に設置しています。また、スマートフォン等の普及により、手軽に時刻を確認する手段が増えていることから、積極的な設置は行っておりませんが、市で今後時計を設置する必要がある場合は、提案の内容を含めた設置について、検討していきます。

太陽光などの「再生可能エネルギー」は、石油や石炭と違い、永続的に利用することができる環境に優しいエネルギーです。市では、住宅に太陽光発電設備を設置した際の費用について補助金を交付していますが、事業者への助成は行っておりません。国や県などでは補助事業を実施しているので、市ホームページ等で商店街の方々にもお知らせしています。

イルミネーションについては、市の「商店街賑わいづくり支援事業」として補助金制度を使った事業を行っている商店会があり、今年度も複数の商店会が実施しています。シャッターアートや顔はめパネルもこの事業の一環として活用してもらうよう商店会に提案し、協力して地域の活性化を図っていきます。

観光パスポートを導入し、穴場施設を有名にします！

【芝山中】

市公式アプリである「ふなっぶ」に、市内の名所を巡る観光パスポートを導入し、各地を巡ることでスタンプを集め、スタンプが貯まると、割引券や市の広報キャラクターである船えもんグッズを進呈することで、市内にある施設を有名にするという提案でした。

〈市の回答〉

パスポートの提案ですが、「ふなっぶ」に観光パスポートの導入や、各施設の割引やグッズの提供協力が得られるよう、関係機関と協議し検討します。また、市内全域の名所ではないですが、市内の歴史・文化に関わる施設を巡る「歴史文化フォトラリー」を令和5年度に開催しました。

行田公園や農業センターなど、地元の人にまだ知られていない施設があるとの発表もありました。地元の方や市外の方にも船橋にある様々な施設や地域の魅力を知ってもらえるよう、画像や動画をメインとした情報発信を行い、視覚的にメッセージを伝えることで、情報を見た方がイメージしやすい情報発信に取り組んでいきます。

〔ふなっぶ〕

防災、子育て、観光などの情報を一つにまとめ、知りたい情報の分類を選択することで、必要な情報をプッシュ通知で受け取ることができるアプリです。「ふなっぶ」はアプリ内のアンケートで利用者からのご意見やご要望を反映しながら、機能の拡大や情報発信力の強化を図っています。

・ Android



・ iOS (iPhone等)



図：「ふなっぶ」インストール用コード

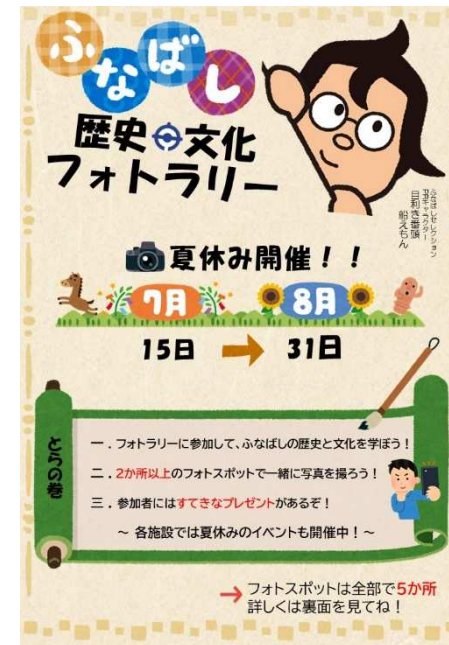


ちなみに・・・

〔歴史文化フォトラリー〕

夏休み期間中にフォトラリー形式で市内の展示施設をまわり、地域の歴史や文化に触れてもらう小学生をターゲットとした参加型の事業です。各施設にフォトスポットを設け、2ヶ所以上を回ってくれた参加者に令和5年度は、船えもんグッズなどの景品をプレゼントしました。

※展示施設・・・郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館、
ふなばし三番瀬環境学習館、
ふなばしアンデルセン公園子ども美術館、
吉澤野球博物館資料展示室



船橋の知名度を SNS 等を通じた動画による船橋映像コンテストでもっと有名にします！

【三田中】

船橋の知名度をさらに上げるため、船橋映像コンテストを導入することで、多くのクリエイターからの様々な広報動画を集め、色々な動画で市の魅力発信を行うという提案でした。

〈市の回答〉

今回の「船橋市映像コンテスト」について、たいへん魅力的な企画であると思います。提案では、ユーチューバーやクリエイターの作品を募集するということでしたが、市内にはたくさんの船橋を愛する人が住んでおり、対象を限定するのではなく誰もが応募できるコンテストを実施したいと考えます。市としても、市の知名度や人気度を上げることは、まちづくりをしていく上で重要な要素になると考えますので、今回提案いただいた内容をもとに、YouTube 等の SNS を活用した「船橋市映像コンテスト」の実施に向け検討します。

また、より多くの方に船橋の魅力を届ける方法として、X（旧 Twitter）や YouTube などの SNS を活用して、さまざまな方法で情報発信をします。

過去のこども未来会議室で提案があり、令和 3 年度に「ふなばし魅力発見フォトコンテスト」を実施し、応募総数 300 点の写真で市の魅力を伝えています。

左図：X（旧 Twitter）で広報された「第 10 回ふなばしミュージックストリート」

右図：市の YouTube チャンネルに投稿された「第 56 回ふなばし市民まつり」における花火



6.船橋をもっと住みやすいまちに

たくさんの方が、勉強したり遊んだりできる施設をつくれます！



【旭中】

学校の図書館は利用者が多いため、なかなか学習として使うことが難しいことから、勉強や遊びで多くの方が利用できる場所を作るという提案をした。

〈市の回答〉

中学校では、学習スペースとして、学校図書館を放課後の自習スペースとして活用できますが、活用にあたっては、安全面等に配慮する必要があります。平日は下校時刻以降に係活動や部活動以外で、自習のために在校する生徒の把握、長期休業中に利用する場合には、対応する人員の確保も必要となるため、期間や時間については、実態に合わせて各学校が判断することになります。

公民館では、図書室や自習スペースを放課後や長期休業中の勉強場所として、学習スペースを提供していますので、ぜひ利用してみてください。また、市内4か所の図書館では学習コーナーや多目的室を事業等での利用がない場合に学習スペースとして開放し、社会人や学生が無料で学習できるスペースをご用意しています。

遊べる施設に関しては、市内には18歳未満のこどもが誰でも自由に遊べる児童ホームが県内最多となる21施設あります。児童ホームは屋根のある公園のような存在で、飲食はできませんが、バスケットボールなどができる体育室や卓球ができる部屋、図書室や乳幼児親子が遊ぶ遊戯室があります。児童ホームには、主に中高生向けの学習スペースを提供しており、実際に活用もされています。勉強の合間の時間に身体を動かして遊べることもできる施設です。また、施設内では禁止されているスマートフォンを利用できるようにするなど中高生のみなさんが利用しやすくなる施設にするための検討をしていきます。児童ホームは無料で利用できる施設なのでぜひみなさん遊びに来てください。

ちなみに、公民館は社会教育法に基づく「社会教育施設」といい、社会教育を推進することを目的に設置された施設であるため、純粋にテレビゲームといった「遊び」だけを目的とした利用が難しいのが現状ですので、必要となる設備や機材も整備していません。公民館は、社会教育・生涯学習の場であると同時に、仲間づくりや地域の交流の場でもありますので、中学生のみなさんにも気軽に立ち寄っていただきたいと思います。

また、こども向けの事業や、ダンスや空手など、こどもが習うことができるサークル活動もあります。休日にはこどもたちが集って公民館が賑やかになる、そんな光景は公民館としてもとても嬉しいことです。こどもたちにとって気軽に集える地域の居場所となれるよう、今後もできる限り利用基準の見直しや事業等の企画を行い、今回提案いただいたことも含め、色々な方策を検討していきます。

図書館の制度を改善することで、本を身近にします！

【前原中】

学校の図書室は混んでいる事が多いので、本を読む機会を増やすために、移動図書館の時間変更を行ったり、コンビニ併設や学校図書館を開放することで、本に触れる機会を増やす、また、図書館でビブリオバトルやこども司書クラブ等のイベントを行うことで、本を知るきっかけを増やし、本を身近なものにしていこうという提案でした。

〈市の回答〉

みなさんの日頃の体験を基にした提案ありがとうございます。

学校の図書室は児童生徒の教育活動を支援する施設としての役割があります。そのため、地域の方への開放は児童生徒の学習への妨げが生じる可能性があるため、原則として考えておりません。放課後や休日等の開放についても、本の管理と整備、対応する人の配置や不特定多数の人が校舎内に入ることの安全性という面から難しいと考えます。

市内には図書館とネットワークで繋がった 19 か所の公民館図書室等があり、図書館の本の予約等を行うことができます。

さらに、図書館や公民館図書室が近くにない地域に移動図書館が巡回しています。巡回時間の変更については、順路や交通状況を考慮して巡回ルートを決めていること、巡回後に返却された本の整理や翌日の巡回のための準備作業を行うため、中学校の下校時間に合わせることは現在のところ難しい状況にあります。また、コンビニ併設については設置できるスペースが無いことや本の管理などの条件をクリアしなければならないことから、難しいと考えます。

市では、図書館や他校から本を貸借するための図書物流があります。今回、発表のあったランダムに本を交換することについては、お互いの学校にある本の情報を共有していないこと、配架している本に学校間の大きな差がないと考えられることから、目的と合わない可能性があります。

しかし、他校との交流という視点はとても面白いと思います。こどもたちが読みたいジャンルの本を他校から借りたり、各校で人気のある本の情報を共有したりすることができれば、読書活動がさらに活発になるかもしれません。図書物流の工夫や学校間の情報の共有などのアイデアについては、学校司書や学校の図書室担当の研修会等を通じて先生方に広めていきたいと思っています。

おすすめ本を一人一冊紹介し、一番読みたくなった本を投票で決めるビブリオバトルは、図書館でコロナ禍前の平成30年度、令和元年度に実施しました。また、こども司書クラブと同じような取り組みとして、市ではこども司書養成講座を行っています。これは小学生を対象に、本の修理等の図書館員の仕事を体験したり、おすすめ本のPOPを作るといった内容で、令和5年度も実施しており、引き続き行っています。さらに夏休み期間中に開催している「地域に飛び出せふなばし夏のボランティア体験」では、図書館の体験メニューを用意しています。

また、市民に対する好きな本のアンケートは今後実施を検討していきます。

図：「地域に飛び出せふなばし夏のボランティア体験」にて募集された船橋市図書館のチラシ

船橋市図書館

体験内容 および ボランティア の役割	・排架作業 図書棚に戻ってきた本を、もとの棚に並べてもらいます。 ・修理・修繕作業 ページが抜けてしまったり、破れてしまったりした図書館の本を修理してもらいます。また、寄附資料へのフィルムコート貼りをしてもらいます。 ・YA(10代向け)コーナー展示用POP作成 1人1冊、好きな本や紹介したい本のPOPを作成してもらいます。		
体験受付日時	西図書館 7/21(金)、7/26(水)、8/2(水) 東図書館 8/3(木)、8/10(木)、8/17(木) 北図書館 8/24(木)	9:30～12:00 13:00～16:00	
活動場所	・集合場所 西図書館：開館後、1階総合カウンターに声をかけてください 東図書館：13時に、1階カウンターに声をかけてください 北図書館：開館後、1階カウンターに声をかけてください (※各図書館の場所は図書館HPでご確認ください)		
参加対象	中学生 高校生 専門学生 院生	募集人数 (1日あたり)	西図書館 1日3名(計9名) 東図書館 1日2名(計8名) 北図書館 1日2名(計8名)
当日必要な物 履服 など	動きやすい服装、エプロン、タオル、飲み物(水筒かペットボトル)		
注意事項	図書館は静かに本を読んでいる方が多くいます。静かに活動しましょう。少くとき音の出る靴は不可(スニーカーが適しています)。		
申込方法			
マッチング会(西図書館：中央公民館 / 北図書館 東図書館：島根台公民館)			
【活動様子が分かる写真】			
 排架作業の様子		 YA(10代向け)コーナーのPOP	
担当者名	連絡・窓口	電話番号 047-431-4385	
メール	t-nishi@city.funabashi.lg.jp		
担当者からひとこと	活動後には本を探すコツを習得しているかも？！ 応募多数の場合は、抽籤となる場合があります。ご了承ください(> <)		

多世代交流型住宅を導入します！



【千葉日本大学一中】

多世代交流型住宅を導入することで、多様性のあるコミュニティが生まれ、若者世代と高齢者世代が交流することで、若者世代は高齢者の方々から色々な知識を学ぶことができ、高齢者世代は身近なコミュニティが生まれることで、見守り活動が行われるといった、コミュニティ全体でメリットのある住宅を導入するという提案でした。

〈市の回答〉

多世代交流によって妊婦さんやお母さんの孤独を癒すという提案、とても良いアイデアだと思います。

保育園のような子育て支援施設を新たに作るときは、その地域におけるニーズを考える必要があるため、多世代交流型住宅の施設として子育て支援施設を作る場合は、設置場所をよく検討する必要があります。

市でこうした施設を設置することは難しいと考えますが、市内には独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の団地が12か所ありますので、今後の建替等を行う際に、多世代が交流できる拠点を作ることを提案します。

市では妊娠や子育てに対する不安や孤独を解消することを目的として、妊婦さんや育児中のお母さんお父さんを対象に、子育て支援センターや児童ホームなどで、子育てに関する相談、講座、講演会（絵本の読み聞かせや親子体操、ふれあい遊び）などを開催しています。

また、子育て応援・情報サイト「ふなっこナビ」やスマホ向けアプリ「ふなっこアプリ」を通して、子育てに関する情報発信を随時行っています。

〔ふなっこアプリ〕

「ふなっこアプリ」は、こどもの生年月日を登録すると、健診や予防接種時期などのお知らせをプッシュ通知で受け取ることができるほか、市の子育て情報も取得できる子育て中の方にぴったりのアプリです。令和6年2月1日時点で、約16,400ユーザーにご登録いただいています。



図：「ふなっこアプリ」インストール用コード

ユニバーサルデザインや熱中症対策用の自動販売機を設置します！



【県立船橋夏見特別支援学校・高根台中】

高齢者の方や車椅子の方など、すべての人にやさしい住みやすい船橋になるように、ユニバーサルデザインの自動販売機を設置したり、大きな災害が頻繁に起きていたり、真夏日や猛暑日の日数が近年増えていたりすることから、各学校に災害時にも対応したライフライン自動販売機を設置するという提案でした。

〈市の回答〉

〔ユニバーサルデザインの自動販売機設置について〕

災害時に考慮し、「誰もが使いやすい」といった視点からの提案ありがとうございます。市では現在、市役所本庁舎にある全 15 台の自動販売機のうち、1 台だけをユニバーサルデザインとすることを条件に設置事業者の募集を行い、自動販売機の設置を行っています。次回の契約更新は令和 6 年の予定ですが、そのタイミングでユニバーサルデザインの自動販売機の導入を再度検討します。また、市役所本庁舎にある自動販売機の全てが、災害時に簡単な操作で内部の商品を無償で提供できるようにした自動販売機となっています。

高瀬下水処理場上部運動広場及び高瀬町まちかどスポーツ広場にも自動販売機を設置していますが、ユニバーサルデザインの自動販売機は導入していないため、現在の契約期間が終了し、再度自動販売機の設置を募集する際には、同様にユニバーサルデザインの自動販売機の導入を検討します。

各公民館には、公民館が民間企業と契約しているものがあります。一部公民館にユニバーサルデザインの自動販売機が導入されており、公民館が契約しているものに関しては、次回契約時に見直しを進めます。あわせて、他の契約につきましても今回いただきましたご提案内容を共有します。

市では、「障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが個人としての尊厳が重んじられ共生できる社会の実現」を基本理念とする「障害者施策に関する計画」を策定しており、障害のある人等に配慮したまちづくりを行うことはバリアフリー化の推進につながることから、自動販売機に限らず、あらゆる人にとって住みやすいまちづくりを進めていきます。

〔学校内への自動販売機の設置について〕

学校に自動販売機を設置する場合は、提案のあった災害時の無償提供や、ユニバーサルデザインなどを条件に入れることができます。ただし、販売業者に場所を貸付ける契約を行うため、契約期間内は自動販売機の撤去や販売をやめることはできません。ルールが守れない場合は、自動販売機を撤去するということを自分たちだけで決めることはできないので、ルールを守り続けることが大切となります。

生活の決まりや学校生活上のルールで変更してほしいこと、見直してほしいことを議論することは、学校の先生方と相談のうえ可能であると考えます。また、自動販売機の設置が可能かどうか、全校生徒のみなさんが自分事として考える意識を高めていくことが大切だと思いますので、生徒総会で取り上げるなど、生徒会を中心に自動販売機の必要性和ルールについて議論を深める活動を進めてみてはいかがでしょうか。

議論を深めるには、現在の水分補給の方法に改善すべき点はあるのか、自動販売機を使う上でのルール作りはどうするのか、商品購入に係るお金の管理をどうするのか等、全校生徒のみなさんに検討してほしい内容を細かく提示し、まずは学級会等で話し合いをしてみてください。

詐欺被害の防止に取り組みます！



【二宮中】

児童からの詐欺防止のメッセージが入ったはがきを高齢者の方々へ送ったり、詐欺防止をテーマにした音楽会を開催し、詐欺のイメージ映像の場面に合わせたクラシックを流すことで、クラシックを聞く幅広い世代へ、詐欺防止の印象付けを効果的に行ったり、新しい詐欺防止キャラクターを導入することで、市内の詐欺防止を推進するという提案でした。

〈市の回答〉

詐欺被害防止の啓発活動と音楽の融合という、効果的な啓発活動という提案ありがとうございます。

振り込め詐欺等を防止するため、警察をはじめ関係団体と連携しながら防犯講話の開催、街頭での啓発活動等を実施し、市民の方々への周知を図るほか、市内在住の65歳以上の人に対し振り込め詐欺防止装置を貸与しています。

音楽会については、市内にはいくつかの音楽団体があり、楽団に実現できるか相談していきます。

被害の多くが電話から始まっており、警察庁において留守番電話や録音などの固定電話対策が推奨されています。また、新規キャラクターについては、すでに多くのキャラクターがあり難しいと思います。

子育て世代を支援します！



【古和釜中】

子育て支援金を給付したり、働く人たちのために保育園の定員を増やしたりなど、子育てしやすい環境をつくるという提案でした。

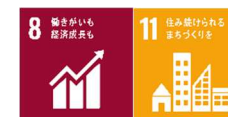
〈市の回答〉

子育て支援を目的とした給付金として国制度の「児童手当」があります。児童手当は、児童を育てている保護者の方が、中学校卒業までの児童一人につき一定の金額をもらえる制度です。なお、令和 6 年 10 月分から、児童手当の金額を増やすことや、対象児童を中学生から高校生年代までに拡げることが予定されています。

また、令和 5 年度は、物価高騰等の社会情勢を受け、千葉県制度として小・中学生の保護者の方に対して行った「子どもの成長応援臨時給付金」に加えて、船橋市が独自に市の制度として「ふなっこ子育て応援給付金」という、小・中学生以外の高校生年代までの児童、生徒や、20 歳までの特別児童扶養手当という手当の認定対象の児童（※生年月日でいうと平成 15 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日生まれです。）の保護者の方に、児童、生徒一人につき 1 万円の給付金を支給しています。今後も、国や県と協力して、みなさんの健やかな成長につながる事業を実施していきたいと思っています。

保育園の定員については、これまで需要が高い地域を中心に拡大を図ってきました。今後も必要に応じて定員の拡大を図るなどして、保護者が安心して子育てできる環境を目指していきます。

高齢者が暮らしやすい巡回バスや移動販売車を導入します！



【古和釜中】

市の人口の約 24% が 65 歳以上の方々なので、交通の利便性を図り、買物をしやすくするために巡回バスの導入と、交通手段が乏しい地域の方々が買い物難民とならないよう、業者と連携して移動販売車を全市的に運行し、高齢者が暮らしやすい環境をつくるという提案でした。

〈市の回答〉

市では、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けられるように、生活支援サービスの提供体制の整備に取り組んでいます。

その中でも、交通が不便な地域に住んでいる高齢者の移動支援と買い物支援は大きな課題であり、地域と連携して、次のような取り組みを現在行っています。いただいた提案も参考にして、今後も引き続き取り組みを進めていきます。

既にイオン高根木戸店やフードスクエアカスミ咲が丘店と協力して移動販売を実施しています。地域から移動販売の巡回要望があれば、事業者と連携しながら、可能な限り希望に沿って実施できるよう考えていきます。

今後も、地域の皆さまからのご要望を聞きながら販売場所の追加、見直しを行っています。



図：移動販売の様子

実現した主な提案

平成26年度に始まった「こども未来会議室」では、みなさんの先輩たちが、みなさんと同じように船橋をよくするための提案を真剣に考えてくれました。その提案は、これまでにいくつも実現しています。

千葉ジェッツふなばしとコラボして船橋を盛り上げます！（屋外イベント）

「誰でも気軽に遊びに来られて、船橋の魅力を詰め込んだスポーツワールドを実現させたい」「ジェッツをもっと多くの人に知ってもらいたい」という提案から、千葉ジェッツふなばしが快諾!!

「#This is Funabashi～中学生が創る未来へのSmile😊～」を2日間限定で開催をしました！

令和5年3月25・26日、浜町中央公園にバスケットゴールを設置し、気軽にバスケットボールに触れてもらうほか、ジェッツのアンテナショップやフォトブース等を設置し、多くの方が来場しました！



千葉ジェッツふなばしとコラボして船橋を盛り上げます！（コラボ商品）

船橋産の梨を使った「船橋からのおもて梨まん」と、千葉ジェッツふなばしのキャプテン富樫勇樹選手の名前を盛り込み、船橋産のにんじんを使用した「勇樹ヤロットまん」を開発。令和3年3月24日のジェッツのホームゲームで300セットを限定販売し、大好評となりました！



中学校を今よりグローバルな場にします！

日本語に不安を抱えている外国人のクラスメイトが、学校生活での不安を解消したり、生徒同士のコミュニケーションツールとして、市立小学校、中学校及び特別支援学校の全学校に、74言語に対応した音声翻訳機（ポケットーク）を導入しました。



ボール遊びができる公園をつくります！

公園でボール遊びがしたい！という提案から、近所の方や関係部署と話し合って遊び方のルールを決めるなど検討を重ね、現在、市内33の公園等でボール遊びができるようになりました。

今後も、ボール遊びができる公園等の整備を進めていきます。



「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを実施します！

時間のある夏休み期間中にボランティア体験をしたいけれど、参加方法がわからない！という提案から、ボランティアを募集している団体や福祉施設等とマッチング会を行い、気軽にボランティアに参加できる「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを行っており、毎年たくさんの方が参加しています。



街灯を増やして街を明るくします！

街灯を増やして、より安全な街にしたい！という提案から、街灯を明るいLED照明に変更したり、暗い道があれば現地の調査を行い、必要かどうかを確認して街灯の設置を行う「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定しました。

フォトコンテストを開催します！

船橋市のことをたくさんの人に知ってもらうために、フォトコンテストを開催したい！という提案から、「ふなばし魅力発見フォトコンテスト」を開催しました。写真を通じて船橋の魅力を発信することができ、入賞作品で作成したポストカードは大好評でした。



入賞作品は市HPからご覧いただけます。

伝統文化をPRします！

船橋市には歴史のある場所が多くあることから、伝統文化について知ること、愛着をもってもらいたい！という提案から「ふなばし歴史・文化フォトラリー」を開催しました。

指定のスポットで写真を撮影するフォトラリーを通して、市内の歴史・文化財の展示施設を巡り、多くの皆さんにその魅力を感じてもらいました。



「梨フェスティバル」を開催します！

船橋のなしをもっとみんなに知ってもらいたい！という提案から、例年行われている「船橋市なし味自慢コンテスト」の名称を変更し、平成29年8月29日にららぽーとTOKYO-BAYで市制施行80周年記念「なしフェスティバル」が盛大に開催され、たくさんのお客様がいらっしゃいました！



取掛西貝塚を有名にします！

令和3年10月に国史跡となった取掛西貝塚をもっと有名にしたいという提案から、市では、もっとたくさんの人に船橋の遺跡について知ってもらうために、遺跡マップや取掛西貝塚を紹介するパンフレットを作成し、各校や一般市民の方に配布しました。令和3年度は、皆さんにタブレットが一人1台配布されたのにあわせ、市内全小中学校に遺跡マップと取掛西貝塚を紹介するパンフレットやポスターのデジタル版を配布しました！



本番の様子

第 1 回



第2回



第3回



第4回





令和五年度こども未来会議室報告書

編集 集 こども未来会議室プロジェクト
事務局 船橋市 市長公室 市民の声を聞く課
発行年月日 令和6年3月